

## ● 社会活動状況 ● 2012.1.~12.31

2012.12.20

### ◆長崎県家畜保健衛生業績発表会◆

開催場所：長崎県市町村会館(長崎市)

審査内容：「家畜衛生行政業務、病性鑑定」

2012.12.18

### ◆宮崎牧場口蹄疫防疫演習◆

開催場所：(独)家畜改良センター宮崎牧場(小林市)

演習内容：口蹄疫発生時の初動防疫活動、通報、検体送付の流れ

講演内容：宮崎県の口蹄疫発生に対する防疫作業について

2012.11.15

### ◆アグリビジネス創出フェア◆

開催場所：東京ビッグサイト（東京）

発表内容：「宮崎大学産業動物防疫リサーチセンターの目的と成果」

2012.11.5.

### ◆平成24年度第2回宮崎県家畜防疫演習◆

開催場所：西都市役所、埋却仮定地（西都市）

演習内容：「肉用牛390頭飼育農場で口蹄疫発生仮定での防疫演習―埋却地準備―」



・2012.11.3.

### ◆第5回日本動物超音波技術研究会◆

開催場所：青島パームビーチホテル（宮崎市）

講演内容：「日本での口蹄疫禍から学ぶ：畜産技術者に向けて―地獄からの復興・新生に向けて―」

・2012.10.27.

### ◆第2回鳥インフルエンザシンポジウム◆

開催場所：南九州大学宮崎キャンパス（宮崎市）

討議内容：「宮崎県における高病原性鳥インフルエンザの防疫対策、鳥インフルエンザ防疫対策に対する養鶏農家の意識調査、H5N1 高病原性鳥インフルエンザウイルスの出現と現状、高病原性鳥インフルエンザの国内発生と野鳥との関わり」

・2012.10.26.

### ◆第81回日本豚病研究会・平成24年度日本豚病臨床研究会・平成24年度日本養豚開業獣医師協会 合同集会◆

開催場所：タワーホール船堀（東京）

討議内容：「PRRS、AD、App、日脳、インプロバックの現状」

・2012.10.23.

### ◆家畜防疫研修会◆(主催:配合飼料協会)

開催場所：宮崎県トラック協会（宮崎市）

討議内容：「家畜伝染病の発生状況、消毒の基本と実践、産廃収集運搬の際の留意事例について」

・2012.10.20.

### ◆診療獣医師講習会講師◆

開催場所：四季彩ホテル千代田館（佐賀市）

講演内容：「①2010年口蹄疫」「②豚赤痢と類似感染症」

・2012.10.19.

◆全国鶏病研究会◆

開催場所：仙台市青年文化センターシアターホール（仙台市）

討議内容：「養鶏のアニマルウェルフェアと衛生、鳥インフルエンザと野生生物、千葉県における高病原性鳥インフルエンザ発生農場の経営再開に向けた取り組み、養鶏施設におけるホルムアルデヒド燻蒸に替わる消毒法、宮城県の養鶏場における東日本大震災の記録」

・2012.10.9.-12.

◆JICA 研修(ベトナム タイバック大学) ◆

開催場所：宮崎大学（宮崎市）

講義内容：「家畜疾病学」、「日本の養鶏と飼養管理衛生」

・2012.10.5-6.

◆日本豚病臨床研究会◆

開催場所：大阪アカデミア（大阪市）

討議内容：「下痢、PCVAD, PED, ダンス病、PRRS、放射能問題、陰囊ヘルニア、パラオの養豚、クーリングパッド、労務災害」

・2012.8.2.

◆平成 24 年度文部科学省「口蹄疫等家畜伝染病に対応した獣医師育成環境の整備事業」感染症実習◆

開催場所：宮崎県庁(宮崎市)

協議内容：『1.家畜疾病が生産性に及ぼす影響、2. 適正な飼養密度・飼養管理調査など、』

・2012.9.28.

◆平成 24 年度家禽疾病講習会◆

開催場所：宮崎大学農学部獣医学科(宮崎市)

講演内容：

①高病原性鳥インフルエンザ 有田章一先生(宮崎家畜保健衛生所)

②世界の養鶏と抗菌性飼料添加物の役割 萬家照博先生(日本イーライリリー(株))

③遺伝子組み換え等の最新技術を応用したワクチン 種子野章先生(ワクチノーバ(株))

④鶏の採血と気管・クローカの採材法および AI 検査法 渡辺拓一郎先生(都城家畜保健衛生所)、戸高和弘先生(日本ホワイトファーム(株))参加人数：85 名

・2012.9.27.

◆第 1 回産業動物獣医学研修プログラム◆

開催場所：宮崎大学獣医学科(宮崎市)、児湯郡川南町、宮崎市佐土原町

研修内容：「口蹄疫防疫業務疑似体験(シミュレーション訓練)と現地検索

対象：国内獣医系大学若手教員」

・2012.9.24.

◆第 1 回産業動物獣医学教育研修プログラム開会式◆

開催場所：宮崎大学農学部(宮崎市)

内容：繁殖検診(講義・実習)、腹腔鏡下手術、外科手術(講義・実習)、牛の全身麻酔と CT 撮影(講義・実習)、牛の解剖とルミノロジー(講義・実習)、口蹄疫防疫業務疑似体験、現地視察

◆JICA 研修(口蹄疫防疫対策上級専門家育成)◆

開催場所：宮崎大学農学部(宮崎市)

発表内容：「諸外国の口蹄疫発生状況と防疫対策について」

対象：JICA 研修員(タイ、ベトナム、カンボジア、ミャンマー、ウルグアイ)

・2012.9.20.

◆馬増殖性腸症調査◆

開催場所：日高家畜保健衛生所、NOSAI 日高(新ひだか町、新冠町)

調査内容：「馬増殖性腸症調査の発生状況、馬牧場視察」

・2012.9.6.

◆JASV 口蹄疫終息 2 周年記念セミナー◆

開催場所：ニューウェルシティ宮崎(宮崎市)

発表内容：「口蹄疫-防疫を考える～2010 年の記録と今後の防疫～日本の養豚の将来に向かって」

・2012.8.27.

◆長期養成研修『口蹄疫復興に伴う特別研修』◆

開催場所:JA宮崎中央会 農協講習所(宮崎市)

発表内容:「2010年口蹄疫発生現場の防疫作業の実態と防疫」

・2012.8.20.

◆「家畜衛生ハンドブック」編集委員会◆

開催場所:八重洲倶楽部(東京)

協議内容:書籍企画及び目次(中目次、細目次)について

・2012.8.9.

◆市民公開講座◆

開催場所:JA・AZMホール(宮崎市)

企画内容:海外渡航上の留意点～口蹄疫ウイルスを持ち込まないためには～

・2012.8.3.

◆第14回宮崎県豚病研究会◆

開催場所:宮崎県総合農業試験場(宮崎市)

討議内容:1.哺乳豚に起きた浮腫病、2.繁殖母豚における蹄の損傷と長さ、3.最近分離された豚丹毒菌について、4.豚の疣贅性心内膜炎、5.豚丹毒多発農場の概要と分離菌、6.母豚のイベルメクチン残留調査、7.出荷豚の9割にみられた注射痕、8.現在家保が行っている消毒講習の概要

・2012.8.2.

◆平成24年度文部科学省「口蹄疫等家畜伝染病に対応した獣医師育成環境の整備事業」感染症実習◆

開催場所:宮崎県庁(宮崎市)

協議内容:『1.家畜疾病が生産性に及ぼす影響、2.適正な飼養密度・飼養管理調査など、』

・平成24年7月13日(金)

◆平成24年度文部科学省「口蹄疫等家畜伝染病に対応した獣医師育成環境の整備事業」感染症実習◆

開催場所:東京大学農学部フードサイエンス棟(東京)

協議内容:『平成24年度アドバンス感染症実習打合せ』

・平成24年6月27-29日)

◆FAO/OIE Global Conference on FMD Control◆

開催場所:Thailand(Bangkok) 約300名

会議内容:『Global FMD Control Strategy』

・平成24年6月25日(月)

◆第2回産業動物従事者向け統計学入門講座◆

開催場所:宮崎大学農学部(宮崎市) 58名

セミナー内容:『ケーススタディに学ぶ統計学』

・平成24年6月12-24日)

◆「口蹄疫からの復興企画展2012～心を一つに防ごう口蹄疫～」◆

開催場所:県立図書館((宮崎市)

活動内容:『牛が消えた日』朗読会、『防護服で消毒疑似体験(子供対象)、口蹄疫パネル展示』

・平成24年6月21-22日)

◆第68回九州山口家畜病性鑑定協議会◆

開催場所:シェイドガーデン(鹿児島市) 約80名

協議内容:『家畜・家禽の病性鑑定事例の検討』

・平成24年6月16日(土)

◆養豚管理実践セミナー「Pig Signals」◆

開催場所:天文館ビジョンホール(鹿児島市)

セミナー内容:『豚が発信するシグナルを読み取り、管理改善につなげる』

・平成24年6月14日(木)

◆第2回「農場衛生管理システム」マッチングフォーラム「家畜飼養管理に寄与するセンサー・計測システム」◆

開催場所:動物衛生研究所(茨城県つくば市)

講演内容:『養豚飼養管理における赤外線サーモグラフィの応用』

・平成 24 年 6 月 14 日(木)

◆第 2 回「農場衛生管理システム」フォローアップフォーラム「消毒用資材」◆

開催場所：動物衛生研究所（茨城県つくば市）

講演内容：『消臭、抗ウイルス・抗菌ネット、超撥水、光触媒、弱酸性水の応用について』

・平成 24 年 6 月 5 日(火)

◆成 24 年度宮崎県畜産試験場技術調整会議◆

開催場所：県電ホール(宮崎市)

協議内容：『大家畜、中小家畜に関する試験研究課題(完了、継続、新規)について』

・平成 24 年 5 月 29-30 日)

◆Thailand-Japan joint conference on animal health 2012◆

開催場所：Rama Gardens Hotel (Bangkok, Thailand)

討議内容：『牛のブルセラ病、高病原性鳥インフルエンザ対策など』

・平成 24 年 5 月 28 日(月)

◆第 1 回産業動物従事者向け統計学入門講座◆

開催場所：宮崎大学農学部(宮崎市)

セミナー内容：『ケーススタディに学ぶ統計学』

・平成 24 年 5 月 25 日(金)

◆第 80 回日本豚病研究会◆

開催場所：文部科学省研究交流センター(つくば市)

討議内容：『東電福島原発事故による放射能汚染による影響ほか』

・平成 24 年 5 月 18 日(金)

◆IPS の集い in 宮崎～最新の ICT 事情とこれからの地域情報化～◆

開催場所：宮日会館(宮崎市)

発表内容：『家畜伝染病対策と ICT 利活用』

・平成 24 年 5 月 17 日(木)

◆高病原性鳥インフルエンザ発生予防検討会◆

開催場所：宮崎大学(宮崎市)

発表内容：『平成 22 年度と 23 年度における養鶏衛生上改善点と課題について』

・平成 24 年 5 月 11 日(金)

◆平成 24 年度口蹄疫ファンド事業審査会◆

開催場所：宮崎県庁内(宮崎市)

審査内容：『産業動物の取扱いおよび防疫に関する教育プログラム開発・研究について』

・平成 24 年 5 月 19 日(水)

◆宮崎県養鶏獣医師協議会 5 月例会◆

開催場所：宮崎県総合農業試験場(宮崎市)

討議内容：『安全で質の高い鶏卵、鶏肉の生産、新中森獣医散「Z」増粒散剤の紹介、ヘリコプター病について』

・平成 24 年 4 月 23 日(月)

◆養豚新生に向けたベンチマーキング打ち合わせ◆

開催場所：宮崎県庁内(宮崎市)

協議内容：『生産向上に向けたベンチマーキングについて』

・平成 24 年 4 月 20 日(金)

◆平成 24 年度第 1 回宮崎県家畜防疫「演習」◆

開催場所：都城市コミュニティセンター(都城市)

発表内容：『口蹄疫等初動防疫(とくに先遣隊の役割)について』

・平成 24 年 4 月 19 日(木)

◆養豚新生に向けたベンチマーキング打ち合わせ◆

開催場所：宮崎家畜保健衛生所(宮崎市)

発表内容：『生産向上に向けたベンチマーキングについて』

・平成 24 年 4 月 13 日(金)

◆平成 24 年度第 1 回宮崎県家畜防疫研修会◆

開催場所：JA-AZM(宮崎市)

発表内容：『口蹄疫等防疫について』

・平成 24 年 4 月 8 日(日)

◆第 7 回国際豚新興再興感染症学会キックオフミーティング◆

開催場所：八重洲ホール(東京)

協議内容：『第 7 回国際豚新興再興感染症学会について』

・平成 24 年 3 月 26-29 日)

◆第 153 回日本獣医学会◆

開催場所：大宮パレスセンター(さいたま市)

発表内容：『LAMP 法による *Mycoplasma bovis* 同定法の確立』

発表内容：『子牛の感染性神経疾患に対する病院探索を目的とした脳脊髄液検査の検討』

・平成 24 年 3 月 8 日(木)

◆平成 23 年度肉用牛振興協議会曾於支部生産者研修会◆

開催場所：やっちくふれあいセンター(志布志市) 67名

発表内容：『宮崎県での口蹄疫の発生と今後の状況について』

・平成 24 年 3 月 1 日(木)

◆鳥フル、BSE、口蹄疫プロ運営委員会◆

開催場所：農林水産省(東京) 21名

審査内容：『鳥フル、BSE、口蹄疫プロジェクト運営評価』

・平成 24 年 2 月 29 日(水)

◆平成 23 年度鹿児島県養豚研究会◆

開催場所：黎明館 (鹿児島市) 約 80 名

発表内容：『口蹄疫を振り返って国家防疫、地域防疫、川南の現状とバイオセキュリティについて』

・平成 24 年 2 月 20 日(月)

◆平成 23 年度文部科学省「口蹄疫等家畜伝染病に対応した獣医師育成環境の整備事業」感染症実習◆

開催場所：東京大学農学部フードサイエンス棟(東京)

協議内容：『アドバンス感染症実習打合せ』

・平成 24 年 2 月 20 日(月)

◆平成 23 年度家畜防疫推進大会◆

開催場所：こばやし農業協同組合本所3階大ホール(小林市) 約 250 名

講演内容：『口蹄疫との壮絶な闘いと海外情報』

・平成 24 年 2 月 7 日(火)

◆平成 23 年度家畜疾病研修会◆

開催場所：福岡普及指導センター(福岡市)約 70 名

講演内容：『口蹄疫災害とは? その被害の実態と農家の再建状況』

・平成 24 年 1 月 25 日(水)

◆平成 23 年度九州酪農青年女性会議指導者研修会◆

開催場所：ホテルセントラザ博多(福岡市) 約 150 名

講演内容：『口蹄疫との闘いと防疫対策の現状と課題』

・平成 24 年 1 月 20 日(金)

◆国際シンポジウム◆

開催場所：宮崎ワールドコンベンションセンターサミット (宮崎市) 約 260

企画内容：『国境なき家畜伝染病防疫対策の取り組み ー世界の安全・安心のためにーONE WORLD, ONE MEDICINE Global Countermeasures against Trans-boundary Animal Diseases』